

class-mdbook-satysfi

Naoki Kaneko (a.k.a. "puripuri2100")

概要

mdbook-satysfi の動作デモ

目次

番号無し	2
番号無しその 2.....	3

ここから番号有りに

1. 番号有り	4
1.1. 番号有りその 2.....	5

番号無し

こんにちは

番号無しその2

改ページします

1. 番号有り

事始め

1.1. 番号有りその2

見出し 1

見出し 2

見出し 3

見出し 4

見出し 5

見出し 6

箇条書き

- リスト 1

- ▶ ネスト リスト 1_1

- ◆ ネスト リスト 1_1_1

- ◆ ネスト リスト 1_1_2

- ▶ ネスト リスト 1_2

- リスト 2

- リスト 3

- (1) 番号付きリスト 1

- (1) 番号付きリスト 1_1

- (2) 番号付きリスト 1_2

- (2) 番号付きリスト 2

- (3) 番号付きリスト 3

- fuga fuga2

- hoge

タスクマーカ

☐ ● hoge

☒ ● hoge

☒ ● fuga

引用

引用文

二重引用もわかりやすい

返信

仕様です。

こんにちは

これはバグですか？

code

コンパイルするときのコマンドは `satysfi main.saty` です

ブロックコード

```
fn main () {  
    println!("Hello!")  
}
```

強調

normal *italic* normal

normal **bold** normal

normal ***bold italic*** normal

~~打ち消し線~~

rule

リンク

Google 先生

こっちから google その他の文章こっちからも google

注釈

普通のテキスト^{†1}普通のテキスト^{†2}

注釈は章の最後に付きます。

表組

内部で `easytable` を使っています。

header1	header2	header3
align left	align right	align center
a	b	c

HTML からの変換で使えるコマンド

ルビ。 `\ruby{暇 \rp{() \rt{いとま} \rp{}}}` : 暇^{いとま}

上付き `\sup{文字}` 下付き `\sub{文字}` : 上付き^{文字}下付き_{文字}

ライセンス等。 `\small{(c) 2021 Naoki Kaneko}` : (c) 2021 Naoki Kaneko

引用コマンドの `\cite` と `\q`。例：夏目漱石の草枕の一節、"智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。"

`\dfn` は新しい単語が出てくることを表します。例えば、「夏目漱石」は初出です。

`\abbr` は略語であることを表します。 : *WYSIWYG(What You See Is What You Get)*

1: 注釈です。 `code` も書けます。

2: 長い注釈です。The quick brown fox jumps over the lazy dog. 寿限無寿限無
五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末雲来末風来末食う寝る処に住む処藪ら柑子の藪
柑子パイポパイポパイポのシューリンガンシューリンガンのグーリンダイグーリン
ダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助